（仮称）川西市総合医療センター
キセラ川西センター整備事業

別添資料１　要求水準書
附属資料Ｉ　諸元表・凡例

平成 31 年４月
川西市

【諸元表について】

諸元表は、本事業における施設整備において、主要な室の機能や性能等の要求水準を示すものである。加点審査項目提案書の作成に当たっては、室条件を充足しながら、室の配置、扉の位置、必要となる設備の仕様・位置・数量等を計画すること。

事業者は、設計業務において、病院各部門の要望を十分に反映させるため、詳細な室条件について市及び指定管理者に対してヒアリングを実施すること。また、事業者は、ヒアリングにて収集した要望を市と十分に協議のうえ整理を行い、諸室の各種要件について確認を行うこと。特に、本事業による施設整備にて備え付けるものや医療機器に必要な設備・構造、備品レイアウトと合致した計画を行うこと。諸元表に記載のある内容は、原則その条件を満たすこと。ただし、ヒアリングの結果等により使い勝手を配慮した上で諸元表と異なる内容を提案し、その提案を市が承諾した場合は、同提案内容は要求基準を上回る水準とみなし、諸元表の内容の変更を認めるものとする。

電気室、機械室、ＤＳ・ＰＳ・ＥＰＳ等は、計画の考え方によりその必要数や必要面積が変化すると考えられるため、事業者各々の計画に則り適宜計画すること。ＣＴやＭＲＩなどの機器特有の機械室等も機種に応じて計画すること。

また、本事業は、救急医療、周産期医療、小児医療及び災害時にも適切な医療を提供できる病院を目指すものであり、当該病院に当然備えるべき機能レベルは、施設要求水準欄に示す各室特有のものを除き記載していない。事業者は適切な判断により各諸室、設備等を計画すること。

なお、諸室の種類に応じて当然備えるべきものとしては、一般的に階段・廊下の手摺、トイレ及び浴室等の補助手摺、ブラインド、カーテンレール（カーテンは別途工事）、カーテンボックス、スクリーンボックス、ピクチャーレール、各種サイン、障害者用表示・案内、感染予防消毒液収納、靴拭きマット、ストレッチャーガード、コーナーガード、点滴フック・レール、各種カウンター、化粧鏡、収納及び収納扉の耐震ロック機能、収納棚、消火器ボックス、避難器具、ペーパータオル、ハンドドライヤー、ベビーシート、浴室・脱衣室等の局所的な暖房器具等が該当する。

また、病院機能上、各種医療機器機能上、診療報酬基準、法令順守、保守管理等で当然必要となる設備については適切に計画すること。

以下諸元表の各項目について凡例を示す。

【全般】

全般記号凡例	
（想定面積）	１室当たりの面積（壁芯面積）を示す。 「以上」の記載の部屋については記載されている想定面積以上を確保すること。 数字以外の記載のない部屋については、記載されている想定面積の±10%以内とすること。なお、室の機能を鑑みて運用に支障のない面積とすること。 「適宜」の記載の部屋については施設要求水準・備考欄・配置予定の主要な医療機器等欄に記載の機器・什器・備品の配置が可能で内部通路スペースの確保など運用に支障のない面積とする。
（施設要求水準）	特有の使い方をする部屋用途の説明及び室における特有の設計水準がある場合に記載している。諸室の種類に応じて当然備えるべきものについては、記載がなくとも設置を行うこと。

【建築等】

建築関係記号凡例	
（吊戸棚）	「〇」印のある部屋については諸室の特性に配慮の上、設置すること。
（カウンター）	「〇」印のある部屋については諸室の特性に配慮の上、設置すること。
（流し台）	「医・ﾚﾊﾞｰ･単」印のある部屋には、医療用流し台を設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「医・ﾚﾊﾞｰ･混」印のある部屋については、医療用流し台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「ﾚﾊﾞｰ･混」印のある部屋については、流し台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。
（洗面化粧カウンター）	「ﾚﾊﾞｰ･単」印のある部屋及び洗面化粧カウンターの設置と記載のある部屋については、洗面化粧カウンターを設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「ﾚﾊﾞｰ･単」印のある部屋及び洗面化粧台の設置と記載のある部屋については、洗面化粧台を設置し、レバーハンドルの単水栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「ﾚﾊﾞｰ･混」印のある部屋及び洗面化粧カウンターの設置と記載のある部屋については、洗面化粧カウンターを設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。 「ﾚﾊﾞｰ･混」印のある部屋及び洗面化粧台の設置と記載のある部屋については、洗面化粧台を設置し、レバーハンドルの混合栓を諸室の特性に配慮の上設置すること。

【電気設備】

（共通事項）

原則、「病院設備設計ガイドライン（電気設備編）HEAS-04-2011（設計時の最新版）」、「JIST1022 病院電気設備の安全基準」及び電気設備学会「病院電気設備の設計・施工指針」に準じて計画すること。

電気設備記号凡例	
（電話、TV）	1）標準的な設置個所を示す。 2）記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（患者呼出、ナースコール、インターホン）	1）標準的な設置個所を示す。 2）記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（医療機器用配管）	1）標準的な設置個所を示す。 2）心電モニター、分娩監視装置用などを示す。 3）記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（LAN）	1）標準的な設置個所を示す。システム構成については市と十分協議すること。 2）記載のない部屋については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。 3）電子カルテとは電子カルテ、部門システム、PACS、医事会計等のネットワークを総称し、一般インターネットとは医療職向け、事務職向けネットワークを総称する。
（コンセント）	1）標準的な設置個所を示す。 2）特殊電源とは単相 200V、三相 200V、単独回路を必要とする大容量コンセントを示す。 3）コンセントの数量、容量等については共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（照明器具）	1）標準的な回路構成を示す。 2）照度、グレア、点滅区分等については、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。

【機械設備】

（共通事項）

原則、「病院設備設計ガイドライン（空調設備編）HEAS-02-2013」、「病院設備設計ガイドライン（衛生設備編）HEAS-03-2011」、「新しい感染症病室の施設設計ガイドライン」に準じて計画すること。

機械設備記号凡例	
（空調運転時間）	1）空調運転時間を示す。 定時：7：00～8：00 頃から 18：00～21：00 頃など、主に昼間決められた時間連続運転する室。 24 時間：年間を通じて 24 時間連続的に運転、または随時運転する室。
（給水）	1）最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（給湯）	1）最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（排水）	1）最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（ガス）	1）最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（蒸気）	1）最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。
（特殊排水）	1）感染系統、中和処理系統、透析系統、厨房系統、高温高圧排水等特殊な排水の必要な室を示す。必要に応じて適切な排水処理設備を設けること。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。 ① 感染系統 ・検査部門、除染室、洗濯室などからの感染性排水。 ② 中和処理系統 ・洗浄室などからの洗浄排水。 ③ 透析系統 ・人工透析排水。 ④ 厨房系統 ・厨房エリアからの油脂分を含んだ排水。 ⑤ 高温高圧排水 ・中材部門からの高温高圧排水（オートクレーブなど）。

（医療ガス）	1）最低限供給の必要な室を示す。設置される機器・器具の種類、仕様、数量に応じて適切に計画すること。なお病室については、原則ベッド毎に設置すること。 ① 酸素 ・〇印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 ② 吸引 ・〇印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 ③ 空気 ・〇印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 ④ 笑気 ・〇印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 ⑤ 窒素 ・〇印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 ⑥ 二酸化炭素 ・〇印のある部屋についてアウトレットを設置すること。 ⑦ 余剰ガス排気 ・〇印のある部屋についてアウトレットを設置すること。
（衛生器具）	1）最低限設置の必要な室を示す。諸室の特性を配慮の上設置すること。記載のない室は、共通事項に基づき事業者の適切な判断により計画すること。 ① 手洗器 ・患者及び医療従事者用に設置。感染防止のため自動水栓を原則とし、溢水口なしとする。「自動」は自動水栓、「ﾚﾊﾞｰ」はレバーハンドル、「単」は単水栓、「混」は混合水栓（水とお湯の混合）を示す。 ② スタッフ用手洗器（グースネック水栓） ・医療従事者用に設置。感染防止のため自動水栓とし、溢水口なしとする。自動水栓は、残留塩素濃度確保のため単水栓（水のみ）を原則とし、手首まで洗えるグースネック水栓とする。 ③ 手術用手洗器 ・〇印のある部屋について設置すること（医療従事者用）。センサーの前に手をかざすだけで水の出し止めができるものとすること。 ④ 掃除流し ・〇印のある部屋について設置すること。 ⑤ 汚物流し ・〇印のある部屋について設置すること（医療従事者用）。汚物を扱った医療従事者が水栓に接触することなく洗浄できるよう、センサースイッチとすること。 ⑥ 乳児バス ・〇印のある部屋について設置すること。 ⑦ オストメイトトイレ ・〇印のある部屋について設置すること。

	⑧ シャワー水栓 ・〇印のある部屋について設置すること。やけど防止のため、サーモスタット付とすること。 ⑨ 手指乾燥機 ・〇印のある部屋について設置すること。

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																								
		面積																	LAN		コンセント			照明器具										医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
1,2病棟・重症系病棟部門																																																			
病棟 周産期センター等（女性病棟）	病棟（SS・諸室含む）				周産期センター等（女性病棟）43床	①43床　LD室3床を含む ②病棟出入り管理としてインターホンを設ける ③セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ④産婦人科に蓄尿装置を設ける																																													
	○一般病棟					帝王切開手術室は手術部門にて対応するため、動線に配慮する																																													
病棟 小児・外科 整形外科・眼科・その他診療科	病棟（SS・諸室含む）				小児科・外科42床、整形外科・眼科・　その他特殊診療科43床	①セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ②プレイルームはセキュリティに配慮する ③病棟出入り管理としてインターホンを設ける																																													
	○一般病棟																																																		
病棟 脳卒中センター・腎センター等	病棟（SS・諸室含む）				脳卒中センター等40床、腎センター等42床	①脳卒中センターには神経内科とSCU3床（クローゼット・手洗い付）を設ける ②セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ③腎センター（糖尿病・内分泌内科）に蓄尿装置を配置する ④病棟出入り管理としてインターホンを設ける																																													
	○一般病棟																																																		
病棟 消化器センター	病棟（SS・諸室含む）				消化器センター（消化器内科・消化器外科）42床、消化器センター43床	①セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ②病棟出入り管理としてインターホンを設ける																																													
	○一般病棟																																																		
病棟 循環器・血液・呼吸器内科	病棟（SS・諸室含む）				循環器内科・血液内科42床、循環器内科・呼吸器内科43床	①セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ②循環器病棟に24時間の蓄尿を設ける ③病棟出入り管理としてインターホンを設ける																																													
	○一般病棟																																																		
HCU病棟	病棟（SS・諸室含む）				20床	①ベッド間に透析用配管と取り出し口を設ける（5床分） ②空気清浄度class10,000～100,000 ③病棟出入り管理としてインターホンを設ける ④セキュリティを高めるために患者とスタッフの動線に配慮する ⑤ベッド間にはパーティションを設ける																																													
	○HCU病棟					①手術部門と清潔ゾーンで動線を直結させる ②検体検査部門との動線短縮に配慮する																																													
病棟共通	病室（無料個室）		13以上			①各室に洗面化粧カウンターを設けること ②部屋別に空調の調整を可能とすること ③PCが利用できる無線LAN回線を設置する				自動・混		○		○		○		○	○	○	○			○	○	○	24時間	○	○	○				○	○	○															ベッド上部に処置灯兼生活用照明 ベッドサイドモニター用配管 フットライト	ベッドサイドモニター
	病室（有料個室）		15以上			①各室に洗面化粧カウンター、シャワー、WCを設けること ②WCは病室の入口付近には設けず、病室へのベッド搬入や病室入口からの患者の視認性に考慮した配置とすること ③有料個室数は一般病床の内の30%程度とする ④部屋別に空調の調整を可能とすること ⑤PCが利用できる無線LAN回線を設置する					自動・混		○		○		○		○	○	○	○			○	○	○	24時間	○	○	○				○	○	○															ベッド上部に処置灯兼生活用照明 ベッドサイドモニター用配管 フットライト	ベッドサイドモニター
	上記WC		適宜			①車椅子対応とすること								○							○				○			24時間	○	○	○											自動・混									
	病室（個室）　感染対応		13以上		陰圧対応　1/フロア（HCU除く）	①各室に洗面化粧カウンターを設けること ②搬送については動線に配慮する（専用EV、専用廊下は設置しない） ③HCU病棟には設置しない ④PCが利用できる無線LAN回線を設置する				自動・混		○		○		○		○	○	○	○			○	○		24時間	○	○	○				○	○	○						自動・混								○	ベッド上部に処置灯兼生活用照明 ベッドサイドモニター用配管 フットライト	ベッドサイドモニター
	上記前室　感染対応		適宜		陰圧対応　1/フロア（HCU除く）																○				○			24時間	○	○	○												自動・混									
	上記WC　感染対応		適宜		陰圧対応　1/フロア（HCU除く）	①車椅子対応とすること								○							○				○			24時間	○	○	○											自動・混									
	スタッフステーション		適宜		1/病棟	①オープンカウンター方式とし、受付コーナーを設ける ②見舞者を目視確認できるように配置すること ③記録コーナー、ドクターコーナー、師長コーナー、メディカルアシスタントコーナーを設ける ④作業準備コーナーを設け診療材料ピッキング、医薬品棚、診療材料棚が設置できるスペースを確保すること ⑤薬剤業務コーナーを設け、情報端末と書籍が置ける程度のスペースを設けること ⑥廃棄物容器（使用中）の設置スペースを、患者から見えない位置に設けること ⑦病棟ミキシングコーナーを設け、離れた場所に器材洗浄コーナー（流し台を含む）を設けること ⑧遅食3食分を保存する冷蔵庫が置けるスペースを確保すること ⑨衛生材料と看護備品を分けて収納できるようにする	○	○	医 レバー・混	レバー・混	○			○	○	○		○	○	○	○			○	○		24時間	○	○	○				○	○							自動・混			○						○共通 ハートモニター用配管 ○HCU病棟（追加） シーリングペンダント用架台・アンカー	○共通 セントラルモニター（生体情報モニター親機） 製氷機、分娩監視装置（モニター） 冷蔵庫、薬品保冷庫、薬剤金庫 ○HCU病棟（追加） シーリングペンダント、ポータブルX線装置
	ｶﾝﾌｧﾚﾝｽ室		適宜		1/フロア	①15人程度のカンファレンスができるようなスペースを確保すること ②実習生用に空間が仕切れる構造とする					○	○					○	○	○	○			○	○		24時間	○	○	○													レバー・混									
	休憩室		適宜		1/フロア	①20人程度のカンファレンスができるようなスペースを確保すること				レバー・混	○	○						○	○	○				○			24時間	○	○	○											レバー・混									
	汚物処理室　大		適宜		1/病棟	①ベッドパンウォッシャーを設置する ②周産期センターの汚物処理室はLDと隣接配置とし、病室からのアクセスにも考慮すること			○											○	○		○	○			24時間	○	○	○												自動・混		○	○					3相200V	ベッドパンウォッシャー
	スタッフWC		適宜		2-3/フロア	①個室とする	○													○					○			24時間	○	○	○											自動・単									
	倉庫		適宜		2フロア	①ポータブルトイレその他を保管する	○													○				○																										
	仮眠室		適宜		2/フロア						○				○					○				○			24時間	○	○	○											レバー・混									
	清潔リネン庫		適宜		2/フロア	①フロア中央付近に集中して設ける	○													○				○			24時間																						
	汚リネン庫		適宜		分散	①病棟内に分散して複数室設ける			医 レバー・混											○				○				○	○	○											自動・混			○						オゾン消臭装置

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																						
部門名	諸室名	面積			備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	LAN		コンセント				照明器具			空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	医療ガス						衛生器具								備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		室数	想定面積	規模㎡														電子カルテ用；無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他							酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	排除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機		
病棟共通	諸車置場		適宜	各病棟面積に計上		①車椅子7–10台/フロア、ストレッチャー1台/フロア、歩行器3台/病棟の置場を設ける ②廊下に面して設け、上部を器材棚として設置する																																													
	パントリー		適宜		1/病棟（HCU除く）	①電子レンジ、給湯器を設置する ②配膳車保管スペースを設置する ③配膳を行うEVとの動線短縮に配慮すること ④6食分の下膳ロッカーを配置できるスペースを確保すること ⑤食堂・デイルームに隣接配置すること	○		レバー・混		○									○	○		○	○			24時間	○	○	○											自動・単							温冷配膳車充電用コンセント 単相200V	温冷配膳車
	ﾘﾊﾋﾞﾘ室		適宜		1/フロア	①4床室程度の広さとする		○			○			○				○		○	○			○			24時間	○	○	○				○	○					自動・混									
	食堂・デイルーム		60以上		1/フロア	①食堂加算を取得できるスペースを確保すること ②手洗器は車椅子対応とすること ③給茶機置場、自動販売機置場を設置する ④家族控室としても利用する ⑤患者交流スペースを兼ねられる広さとする			自動・混	自動・混	○	○		○					○	○		○	○			24時間	○	○	○				○	○					自動・混									給茶機、自動販売機 コーヒーベンダー
	患者WC		適宜		1/病棟	①無料個室4-6室に1室程度設ける ②分散集中型（2-3の個室トイレを集中させ、それを病棟内に分散配置する方式）とする ③①とは別に車椅子対応トイレを2室設け、フロアに1室はオストメイト対応とすること ④HCU病棟は清潔エリア内には設けず、エリアを出たところに手術室と兼用で設ける ⑤患者家族用トイレと車椅子対応トイレを兼用できるように配慮すること				自動・混				○				○		○	○			○				○	○	○													○			○		○	尿量測定装置つき便器	蓄尿装置
	浴室		適宜		1/病院	①整形外科病棟に設置する。個浴を想定する ②脱衣室を設けること ③両側から介助者が介助できるスペースを設けること	○			自動・混				○						○				○	○		24時間	○	○	○																	○			
	特浴室		適宜		1/病院	①臥浴タイプの特殊浴槽を設置すること ②ストレッチャーでの利用ができ、かつ両側で介助者2名が介助できるスペースを確保すること ③病棟階の中間に位置する階に設ける	○			自動・混				○						○			○	○	○		24時間	○	○	○				○	○												○	三相200V パネルヒーター	特殊浴槽
	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ　（US）		適宜		1ヶ所（整形外科病棟設置） ストレッチャー対応	①脱衣室を設けること								○						○				○	○		24時間	○	○	○																○		
	洗濯室		適宜		1/病院	①コインランドリーとし、洗濯機と乾燥機それぞれを3台ずつ設置すること														○			○	○			24時間	○	○	○										レバー・混			○					三相200V	洗濯乾燥機
周産期センター	LD	3	26以上		女性病棟に設置	①手術対応は行わない ②和室１室、洋室２室とする ③医ガスは母体用と新生児用を設ける ④空気清浄度class1,000				自動・混	○	○		○				○		○	○			○	○		24時間	○	○	○				○	○	○												分娩監視装置用配管	分娩監視装置 分娩台、インファントウォーマー、分娩用吸引器 スタンド処置灯
	新生児室	1	適宜		女性病棟に設置	①入室のｾｷｭﾘﾃｨに配慮する ②空気清浄度class1,000				自動・混	○			○				○		○	○			○	○		24時間	○	○	○				○	○	○					自動・単			○						新生児ｺｯﾄ、インファントウォーマー、新生児保育器
	沐浴室	1	適宜		女性病棟に設置	①指導スペースを併設する			自動・混	自動・混				○				○		○				○	○		24時間	○	○	○				○	○									○			沐浴層用壁補強	沐浴槽、沐浴台、ベビースケール
	授乳室　　大	1	適宜		女性病棟に設置					自動・混				○						○				○	○		24時間	○	○	○																	
	調乳室	1	適宜		女性病棟に設置				自動・混	自動・混				○						○	○		○	○	○		24時間	○	○	○			高温													三相200V、単相200V	調乳システム、哺乳瓶保温庫、フリーザー
	内診室	1	適宜		女性病棟に設置				医 自動・混		○			○				○		○	○			○	○		24時間	○	○	○			感染	○	○	○					自動・単							床排水、処置灯用架台・ｱﾝｶｰ	内診台、処置灯（天井吊り）、 超音波診断装置（単独電源）
	交流スペース	1	適宜		女性病棟に設置	①母親同士の交流の場にふさわしい設えとする ②授乳室に隣接する			自動・混			○		○					○	○				○	○		24時間	○	○	○				○	○					自動・混									
	男性用トイレ	2	適宜		女性病棟に設置									○						○					○			○	○	○										自動・混									
	医師当直室	1	適宜		女性病棟に設置					自動・混	○	○						○		○				○	○	○	24時間	○	○	○																	スレブモニター用配管	分娩監視（スレブモニター）
	プレイルーム	1	適宜		小児病棟に設置				自動・混			○		○						○	○			○	○		24時間	○	○	○				○	○					自動・混									
HCU病棟	観察用４床室	2	適宜		計８床	①各室に洗面化粧カウンター、クローゼットを設けること				自動・混		○		○				○		○	○	○		○	○		24時間	○	○	○				○	○	○		○			自動・混							モニター配管、シーリングペンダント用架台・ｱﾝｶｰ	生体情報モニター、シーリングペンダント
	オープン病室	12	適宜		内６床は将来ICUに改修可能	①医ガスは天井面からの取り出しとする			自動・混	自動・混		○		○				○		○	○	○		○	○		24時間	○	○	○				○	○	○		○			自動・混							モニター配管、シーリングペンダント用架台・ｱﾝｶｰ	生体情報モニター、シーリングペンダント
	当直室	2	適宜			①医師当直室、看護師当直室を設ける					○	○						○		○				○	○		24時間	○	○	○										自動・混									
	■病棟					**①薬剤部からの薬品他の搬送として小荷物搬送用EVを設置する ②栄養課との配膳・下膳動線に配慮する ③リハビリ部門との患者動線に配慮する ④ナースコールはスマートフォンと連動させる ⑤サブステーションを病棟に適宜設置する ⑥病室出入り口付近に手指消毒を設置する ⑦各病棟のエレベーターホールと廊下の間には管理扉及びカードリーダーを設置し、入退室管理を行う 　HCU・女性病棟、新生児室のセキュリティ管理には十分に配慮する**																																											

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																								
部門名	諸室名	面積			備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	LAN		コンセント				照明器具			空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	医療ガス						衛生器具								備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		室数	想定面積	規模㎡														電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他							酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機		
3.外来部門																																																			
1．外来																																																			
	ﾌﾘｰｱﾄﾞﾚｽ部分 診察室	29	10	290		①診療科ブロックは１：消化器内科、呼吸器内科、血液内科、一般内科、総合診療科（計８室）、２：循環器内科、糖尿病･内分泌内科、腎臓内科（計８室）３：神経内科、脳神経外科、麻酔科、緩和ケア、精神科（固有診察室）（計５室）、４：皮膚科、形成外科、乳腺外科、外科、呼吸器外科（計８室）				○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	ﾌﾘｰｱﾄﾞﾚｽ部分 処置室	5	10	50		①診療科ブロック1,2,3で計３室、4で２室 ②処置室と診察室間の行き来をしやすいような配置とする			医 レバー･混		○			○				○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	ﾌﾘｰｱﾄﾞﾚｽ部分 感染診察	1	10	10							○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	ﾌﾘｰｱﾄﾞﾚｽ部分 感染待合		適宜								○	○	○	○				○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○						自動･混									
	小児科 診察室	4	10	40		①小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科で１ブロックを形成する ②内1室を特診室とし、感染用待合を設ける					○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	小児科 処置室	2	20	40					医 レバー･混		○			○				○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混								処置灯用架台･アンカー	処置灯（天井吊り）
	小児科 授乳室	1	4	4					自動･混					○						○				○	○		定時	○	○	○											自動･混									
	耳鼻咽喉科 診察室	1	20	20	5.4m×3.6m程度	①小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科で１ブロックを形成する					○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混								洗浄機臭気対策排気配管	耳鼻科診療ユニット、耳鼻科用患者椅子（電動）、耳鼻科用内視鏡システム、耳鼻科洗浄機
	耳鼻咽喉科 ENG検査室	1	20	20		①聴力検査ブースを設置する			自動･混		○			○				○		○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	眼科 診察検査室	2	11	22		①小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科で１ブロックを形成する					○		○					○	○	○	○			○	○	○	定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	眼科 診察室兼処置室	1	11	11					医 レバー･混	○			○					○		○	○			○	○	○	定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	眼科 暗室	3	11	33			○		医 レバー･混		○	○						○	○	○	○		○	○	○	○	定時	○	○	○																			暗幕 三相200V	マルチカラーレーザー
	眼科 眼科検査室	1	35	35					医 レバー･混	○	○							○		○	○			○	○	○	定時	○	○	○												自動･混								暗幕	眼底ｶﾒﾗ、視力検査装置
	泌尿器科 診察室	2	10	20		①小児科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科で１ブロックを形成する					○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	泌尿器科 処置室	1	10	10					医 レバー･混		○							○		○	○			○	○		定時	○	○	○			感染	○	○								自動･混								床排水 処置灯用架台･アンカー	処置灯（天井吊り）、検診台（電動）、エコー装置（単独電源）、尿流量測定装置、ウロダイナミックシステム、膀胱鏡システム
	整形外科 診察室	5	10	50		①放射線部門の一般撮影室との動線短縮に配慮する					○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混									電動診察台
	整形外科 処置室	1	10	10					医 レバー･混		○							○		○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混								プラスタートラップ、処置灯用架台･アンカー コルセット固定用天井補強	処置灯（天井吊り）
	看護系外来 診察室	3	10	30							○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混									
	ﾌｯﾄ/ｽﾄﾏ外来 診察室	1	10	10		①足洗い用流し台を設置する			医 レバー･混		○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○				○	○								自動･混								足洗用流し台	オゾン脱臭装置
	カウンセリング室	1	10	10							○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○													自動･混									
	医事相談室	1	10	10		①職員の安全対策として２方向からの出入り可能とする ②医事課に隣接させ設置する					○		○					○	○	○	○			○	○		定時	○	○	○													自動･混									
	（診察ブロック計）																																																		
	面談室	7	15	105		①診察室ブロック1–4に各１室、小児科･耳鼻咽喉科･眼科･泌尿器科ブロックで１室、産婦人科ブロックに１室、整形外科ブロックに１室設ける					○							○	○	○				○	○		定時							○	○																	
	栄養相談室	0	0	0	PFM部門の説明相談個室にて兼用する						○		○					○	○	○				○	○		定時	○	○	○													自動･混									
	ｽﾀｯﾌ通路･ｽﾀｯﾌWC	1	適宜			①ｽﾀｯﾌWCは男女別に設ける ②診察室とｽﾀｯﾌ通路の間は扉とカーテンを併設する	○		レバー･混		○			○				○	○	○				○	○		定時	○	○	○													自動･混									
	総合案内	1	5	5		①以下の機能を担う。外来受診患者の受診科相談･案内、診察申込書記入の案内、家族･面会者などの質問対応、身体の不自由な方への対応、再来受付機の使用方法の説明等		○			○							○	○	○	○			○	○		定時																									
	総合受付		0		医事部門に記述する																																														
	会計受付		0		医事部門に記述する																																														
	ﾌﾞﾛｯｸ受付	7	10	70		①各診察ブロックに1ヶ所ずつ設置する		○			○		○					○	○	○	○			○	○		定時																									
	（必要諸室）																																																		
	待合	1	適宜		必要諸室面積の約40%程度	①脳神経外科、整形外科では、診察室前待合スペースに車椅子待機スペース（2台/科）を設ける ②院外処方箋FAXコーナーを設ける ③電話コーナーを設ける。災害対応用も含む ④絵画･パネル展示等のアートコーナーを設ける ⑤デジタルサイネージを採用する ⑥ブロック受付の付近に災害時用の医ガス･非常用電源を確保する						○	○					○	○	○				○	○		定時							○	○															患者待合表示システム用配管、補強	患者待合表示システム 自動販売機、コーヒーベンダー
	小児科プレイコーナー	1	適宜									○								○	○			○			定時																							
	検査説明ブース	7	2	14	1.5m×1.5m程度	①ブロック受付に隣接して設置する					○							○	○	○				○			定時																							
	計測コーナー	2	2	4		①血圧･身長･体重測定を実施 ②外来フロアに階毎に１箇所設ける												○		○				○			定時																									
	○外来																																																		

必要諸室		全般					建築等				電気設備																	機械設備																									
		面積															LAN		コンセント				照明器具											医療ガス							衛生器具													
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	その他：無線対応含	電子カルテ用ネット用	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
２．産婦人科外来	婦人科診察室	3	10	30	2.7m×3.6m程度	①ストレッチャーでの進入を想定すること					○		○			○		○	○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○				○	○							自動・混									分娩観察装置用配管 エコーの設置を想定する	分娩観察装置 エコー（単独電源）
	婦人科内診室	3	7.2	21.6	2.0m×3.6m診察室付属								○					○		○	○				○	○	○		定時	○	○	○			感染	○	○							自動・単									床排水、処置灯用架台・アンカー	内診台、処置灯（天井吊り）、超音波診断装置（単独電源）
	ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ室	1	10	10							○		○	○				○	○	○	○				○	○			定時																								
	授乳室	1	4	4					自動・混					○							○	○			○				定時	○	○	○											自動・混											
	処置室　ﾍﾞｯﾄﾞ	2	3.8	7.6		①処置ﾍﾞｯﾄﾞ1台分＋ﾘｸﾗｲﾆﾝｸﾞﾁｪｱ3台分のスペースを設ける								○				○		○	○				○	○			定時							○	○																処置灯用架台・アンカー	処置灯（天井吊り）
	処置室　ｽﾀｯﾌｽﾃｰｼｮﾝ	1	10	10				○	医 レバー・混		○			○				○	○	○	○				○	○			定時	○	○	○			感染									自動・単			○							
	ｽﾀｯﾌ通路	1	適宜			①準備スペースを設ける	○		医 レバー・混		○			○				○	○	○					○	○			定時	○	○	○												自動・単									スレブモニター用配管	スレブモニター
	（必要諸室）																																																					
	待合	1	適宜									○	○						○	○	○				○	○			定時							○	○															患者待合表示システム配管、補強	患者待合表示システム
	○産婦人科																																																					
３．採血採尿・検体採取中央処置	採血カウンター	1	25	25		①４ブース設置し、車椅子で使用可能なスペースとすること ②採血受付コーナーを設置する	○	○			○		○			○		○	○	○	○				○	○			定時														自動・混											
	採尿ＷＣ（男･女･車椅子）	1	54	54		①一般ＷＣと共用 ②男性：小3箇所･大3箇所、女性6箇所、車椅子トイレ1箇所を設ける ③ベビーカーが入るスペースを確保する								○								○					○				○	○	○											自動・混			○					○	パスボックス	
	中央処置室　処置ﾍﾞｯﾄﾞ	6	5	30		①処置ﾍﾞｯﾄﾞ6台分のスペースを確保する ②自己血･輸血を実施する								○				○		○	○				○	○			24時間	○	○	○				○	○							自動・単										生体モニター
	中央処置室　ｽﾀｯﾌｽﾃｰｼｮﾝ	1	12	12		①準備スペースを設ける ②受付コーナーを設ける		○	医 レバー・混		○			○				○	○	○	○				○	○			24時間	○	○	○															○						
	（必要諸室）																																																					
	通路スペース	1	適宜				○		医 レバー・混		○			○				○	○	○					○	○			定時	○	○	○												自動・単										
	待合	1	適宜			①診察室の並びに採痰コーナーを設ける						○	○						○	○	○				○	○			定時							○	○							自動・単										採痰ブース
	○採血採尿･中央処置																																																					
	■外来部門					**①患者呼び出しはモニター（診察室毎に1台）とマイクで行う。総合受付前、ラウンジスペースに大画面モニターを設置する ②診察室の出入り口はストレッチャー対応とし、扉内にカーテンを設置して視線に配慮する ③診察室は遮音性に配慮し、隣接する診察室の話し声が聞こえないようにする ④診察室には医師以外に入力補助者の作業スペースを設ける**																																																	
４．化学療法部門	化学療法室	1	160	160		①ﾘｸﾗｲﾆﾝｸﾞﾁｪｱ10台分のスペースを設置する ②ﾍﾞｯﾄﾞサイドにTVを設置する ③窓を設ける ④出入り口や通路はﾍﾞｯﾄﾞ搬送が十分可能な広さとする ⑤臭気や騒音に特に配慮した環境とする						○		○					○		○	○				○	○	○		定時	○	○	○				○	○							自動・単									生体情報ﾓﾆﾀｰ用配管	生体情報ﾓﾆﾀｰ、ﾘｸﾗｲﾆﾝｸﾞﾁｪｱ、アーム型テレビ
	ｽﾀｯﾌｽﾃｰｼｮﾝ	1	12	12		①2-3人分のスペースと準備スペースを設ける		○	医 レバー・混		○			○				○	○	○	○				○	○			定時	○	○	○												自動・混										
	患者用更衣室	2	7	14		①男女別に設け、合計で20名程度のスペースを設ける				自動・混				○						○					○	○			定時																								
	診察･面談室	1	10	10		①緊急時の処置室としても使用する					○		○					○	○	○	○				○	○			定時	○	○	○				○	○							自動・混										
	薬準備コーナー	1	10	10					医 レバー・混									○		○	○				○	○			定時	○	○	○												自動・単										
	調整室	1	8	8							○						○	○	○	○	○				○	○			定時																						安全ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ用の配管･配線	安全ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ
	前室	1	6	6					医 レバー・混											○	○				○	○			定時	○	○	○																			パスボックス	
	薬品倉庫　前室兼用	1	6	6																○	○				○	○			定時	○		○												自動・単										
	汚物処理コーナー	1	9	9					医 レバー・混											○					○					○	○	○												自動・単			○							
	化学療法ＷＣ	1	5	5		①車椅子用ﾄｲﾚとする								○						○					○	○				○	○	○										自動・混											
	受付コーナー	1	5	5		①車椅子用ﾄｲﾚとする		○			○			○				○		○					○	○																											
	待合･通路部分	1	適宜			①同時に4-5名分の待合室を設ける						○							○	○					○	○			定時																								
	■外来化学療法部門					**①外来部門、薬剤部門との動線短縮に配慮する**																																																

部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	LAN 電子カルテ用：無線対応含	LAN 一般インターネット用	コンセント 一般用	コンセント 発電機電源	コンセント 無停電電源	コンセント 特殊電源	照明器具 一般	照明器具 発電機回路	照明器具 調光設備	照明器具 その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	医療ガス 酸素	医療ガス 吸引	医療ガス 空気	医療ガス 笑気	医療ガス 窒素	医療ガス 二酸化炭素	医療ガス 余剰ガス排出	衛生器具 手洗器/洗面器	衛生器具 スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	衛生器具 手術用手洗器	衛生器具 掃除流し	衛生器具 汚物流し	衛生器具 乳児バス	衛生器具 オストメイト	衛生器具 シャワー水栓	衛生器具 手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
4.手術部門																																																				
手術部	手術室1,2　8m×8m	2	81	162	9.0m×9.0m程度	①内法8.0m×8.0m以上とする ②空気清浄度class100,1000を各１室ずつ設ける ③整形外科手術用とし放射線防護が必要					○				○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	24時間							○	○	○		○	○	○										術野カメラ用配管、観察カメラ用配管、単相200V、無影灯用配管、標示灯 CT画像、顕微鏡サブ影像用モニター配管	術野カメラ、観察カメラ、無影灯、標示灯 シャウカステン（可動式） CT画像、顕微鏡サブ影像用モニター
	手術室3-7　7m×7m	5	64	320	8.0m×8.0m程度	①内法7.0m×7.0m以上とする ②空気清浄度class10,000 ③一般手術用とし、手術室3.4に放射線防護が必要 ④手術室4,5は緊急手術対応とする。手術室3,4,5にシーリングペンダントを設置する ⑤手術室6は耳鼻科・眼科、日帰り手術を行う ⑥手術室7は将来的に手術用ロボット導入可能な広さを確保　泌尿器用排水要					○				○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	24時間			○			感染	○	○	○	○	○	○	○										術野カメラ用配管、観察カメラ用配管、無影灯・シーリングペンダント架台・アンカー、標示灯、単相200V、手術室7に泌尿器用排水設置 手術室4.5に笑気ガス、ベビー用の医ガス一式 CT画像、顕微鏡サブ影像用モニターの設置を想定	術野カメラ、観察カメラ、無影灯、シーリングペンダント CT画像、顕微鏡サブ影像用モニター 外科用イメージ、ダヴィンチ（将来想定）
	手術室１　前室	1	12	12	4.0m×3.0m程度	①BCRである「手術室8m×8m」の内1室に接続する ②空気清浄度class10,000														○	○			○	○			24時間																								
	手術ホール	1	300	300		①一足制、中央ホール型の配置とする ②手術中のベッドは病棟に戻すものとする ③手術用手洗いを２ヶ所で15人分設ける。洗浄手洗い水は水道水とする												○		○	○		○	○	○			24時間	○		○													○							単相200V	手術用手洗い装置 大型フリーザー
	受付	1	10	10		①記録コーナー（SS）の一角に設ける ②麻酔科外来の受付を兼用する		○			○				○			○		○	○			○	○			24時間																								
	手術ホール前室	1	30	30	巾5m×6m	①ベッドの乗せ換えは行わない									○			○		○	○			○	○			24時間																								
	ポータブル器材置場	3	15	45		①ラパロ用タワー３台、外科用イメージ１台、Cアーム２台、ポータブルX線撮影１台を想定する ②HCU病棟に隣接配置を検討する ③MEの作業用スペースを設ける ④手術部門の中央付近に配置する ⑤3ヶ所程度に分散して設ける												○		○	○			○	○			24時間							○	○	○														単相200V	ラパロ用タワー、外科用イメージ、Cアーム、ポータブルX線撮影、画像読取装置
	器材室　滅菌済	1	50	50							○							○		○	○			○	○			24時間																								
	器材室　未滅菌	1	30	30					医 レバー・混		○							○		○	○		○	○	○			24時間	○	○	○												自動・単		○						三相200V	ポータブル滅菌器、ジェットウォッシャー
	汚物処理室	1	12	12		①陰圧仕様とする ②足洗浄スペースを隣接させて設ける ③手術室からの動線の短縮に配慮する			医 レバー・混											○	○			○	○			24時間	○	○	○												自動・単		○	○						
	診療材料保管庫	1	5	5	2.5m×2m程度															○	○			○	○			24時間																								
	薬剤庫	1	5	5	2.5m×2m程度	①薬剤部との搬送動線の短縮に配慮する														○	○			○	○				○	○	○												自動・混									保冷庫
	廃棄物置場	1	10	10																○	○				○				○		○												自動・単									
	ME作業スペース	1	15	15		①ポータブル器材置場の一角に確保			医 レバー・混									○		○	○			○				24時間	○	○	○				○	○	○															
	記録コーナー（SS）	1	35	35		①10人程度のスペースを確保すること		○	医 レバー・混		○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○												自動・単			○					生体情報モニター用配管	生体情報モニター
	スタッフ控室	1	35	35		①10名程度のスタッフが休憩や食事を行う				自動・混	○	○			○			○	○	○				○	○			24時間	○	○	○															○						
	管理スペース	1	5	5		①看護師長が執務・面談に使用する					○							○	○	○	○			○				24時間	○	○	○												自動・単									
	IC室	3	8	24		①手術ゾーンより直接入れるIC室が1室（麻酔科外来としても使用）、手術部門とHCU病棟と兼用可能なIC室を2室設ける ②日帰り手術部門と兼用する					○							○	○	○				○	○			24時間	○	○	○												自動・単									
	家族待合	1	12	12		①2家族×3名の計6名を想定する					○									○				○	○			24時間	○	○	○																					
	OPスタッフ更衣室	2	2	4																○				○																												
	OP患者WC	2	適宜			①男女、各１室を設ける ②日帰り手術部門と兼用する ③清潔管理区域外に設置する								○	○						○				○				○	○	○											自動・混											
	〇手術部					**①手術台は移動型とする** **②手術ホール出入り口から手術室6→5・4→7→3→2→1（前室）の順に配置する** **③将来対応として手術室1室（手術室3と同じ仕様）が拡張できる計画とする** **④手術部から中央材料部門への不潔物品搬送経路は他部門・共用部門を通らないように考慮すること**																																															
日帰り手術諸室	更衣室	2	適宜			①同時に５名が使用できるスペースを設ける														○				○	○			24時間																								
	前処置室	1	5	5							○			○						○				○	○			24時間	○	○	○											自動・混											
	リカバリー室	1	15	15		①同時に2-3人が使用できるスペースを設ける					○			○				○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混											
	〇日帰り手術諸室					**①日帰り手術ゾーンはその他の手術ゾーンとゾーン分けする**																																														

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																							
		面積																LAN		コンセント				照明器具												医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
スタッフ諸室	医師控室	1	50	50		①麻酔科医控室と兼用する ②同時に15人が使用することを想定する					○	○						○	○	○				○	○			24時間	○	○	○												自動･単										
	仮眠室	3	12	36		①男女の区分を設ける ②2段ベッドの設置を想定する				自動･混	○									○				○	○			24時間	○	○	○																					
	カンファレンス室	1	8	8		①同時に4-5人が利用できるスペースを設ける					○					○	○	○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動･混									術野カメラ用配管、観察モニター用配管	術野カメラ、観察モニター
	職員更衣室（男）	1	50	50		①男女合わせて60人（同時に男女それぞれ30名）が使用する ②男女比率が想定できないため、フレキシブルな対応を可能とする ③中央材料部門と兼用するため、隣接する				自動･混										○				○	○			24時間	○	○	○											自動･混										
	職員更衣室（女）									自動･混										○				○	○			24時間	○	○	○											自動･混										
	ﾕﾆﾎｰﾑｽﾄｯｸ	1	適宜																	○				○																											
	職員用ﾄｲﾚ	2	適宜			①男性用１、女性用１を設置する														○	○			○					○	○	○											自動･混										
	ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ	2	5	10		①脱衣室を設ける ②男女を区分する ③各職員更衣室内に設ける														○				○					○	○	○																	○			
	ｽﾀｯﾌ通路	1	適宜																	○				○	○																											
	○スタッフ諸室																																																			
	■手術部					**①放射線部門との動線短縮に配慮し、特に血管撮影室は手術室につながるEVの近傍に配置する ②HCU病棟と手術部は清潔ゾーンで直結する配置とする ③患者動線は業者や物品動線とはできるだけ交差しないよう配慮する ④帝王切開手術は手術ゾーンで行うため、女性病棟との動線を短縮する ⑤検体検査部門（検体搬送）との縦動線に配慮し小荷物搬送用EVの設置を検討する**																																														

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																							
		面積																	LAN		コンセント			照明器具										医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
5.救急部門																																																				
救急部門	風除室･洗体室	1	24	24		①除染シャワーを設ける									○			○			○			○	○				○	○	○			感染			○											○		床排水、シャワー	
	救急前室	1	24	24														○			○			○	○			24時間																							
	車椅子･ストレッチャープール		適宜			①車椅子5台･ストレッチャープール2台分を救急前室近傍に設置する																																													
	ﾄﾘｱｰｼﾞﾌﾞｰｽ	1	12	12		①救急前室近傍に設ける ②診察ﾍﾞｯﾄﾞを配置する					○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○				○	○	○						自動･単							○			
	初療室	1	40	40	4m×5m程度（患者2名同時初療）×2 計4名	①物品保管スペースを設置する ②4人分中1人分は特に重症な患者用として個室とする					○					○		○		○	○	○		○	○		○	24時間	○	○	○				○	○	○						自動･単									無影灯･ｼｰﾘﾝｸﾞﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ用架台･アンカー ｱｲｿﾚｰｼｮﾝﾕﾆｯﾄ	無影灯（天井吊り）、ｼｰﾘﾝｸﾞﾍﾟﾝﾀﾞﾝﾄ（天井吊り）、ﾎﾟｰﾀﾌﾞﾙX線撮影装置
	救急ホール	1	適宜															○	○	○	○			○	○			24時間																							
	（救急初療室ﾌﾞﾛｯｸ）																																																	
	救急受付	1	10	10				○			○							○		○	○			○	○			24時間																							
	救急事務（守衛）	1	20	20		①同時に3人が使用するスペースを設ける ②救急隊の控えるスペースを設ける				自動･混								○	○	○				○	○			24時間	○	○	○																				生体情報ﾓﾆﾀｰ用配管	生体情報ﾓﾆﾀｰ（ｾﾝﾄﾗﾙﾓﾆﾀｰ）
	時間外投薬窓口	1	8	8		①薬剤部からの動線に配慮する												○	○																																
	ｽﾀｯﾌWC	2	適宜			①男女各1室ずつ設ける														○					○				○	○	○										自動･混										
	職員更衣室	2	適宜			①男女各1室ずつ（各6人程度）設ける														○				○																											
	救急当直室	6	6	36						自動･混	○	○								○				○	○			24時間	○	○	○																				
	救急休憩室	1	10	10		①6人が同時に利用できるスペースを設ける			レバー･混		○	○						○	○	○				○	○			24時間	○	○	○										自動･混										
	仮眠室	3	5	15		①個室とする				自動･混	○									○				○	○			24時間	○	○	○																				
	感染用診察室	1	10	10		①陰圧仕様とする					○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○				○	○	○					自動･混										
	感染用受付	1	6	6				○			○							○	○	○	○			○	○																										
	感染患者用ﾄｲﾚ	1	適宜											○							○				○									感染							自動･混										
	感染用待合	1	適宜			①陰圧仕様とする ②5-6人が待てるスペースを設ける						○							○	○				○	○			24時間	○	○	○			感染							自動･混										
	感染用出入口	1	適宜												○																																			
	救急診察室	4	10	40		①救急の面談･説明も実施する					○		○					○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動･単										
	救急処置室　処置ﾍﾞｯﾄﾞ	4	5	20		①処置ﾍﾞｯﾄﾞ４台分のスペースを設ける ②ﾘｶﾊﾞﾘｰ室を兼用する									○			○		○	○	○		○	○			24時間							○	○	○															
	救急処置室　ｽﾀｯﾌｽﾃｰｼｮﾝ	1	12	12		①準備スペースを設ける ②薬品管理スペースを設ける		○	医 レバー･混		○			○	○			○		○	○			○	○			24時間	○	○	○				○	○	○						自動･単										
	汚物処理室	1	20	20		①ﾍﾞｯﾄﾞﾊﾟﾝｳｫｯｼｬｰの設置を想定する			医 自動･混												○		○	○					24時間	○	○	○											自動･単			○	○					三相200V	ﾍﾞｯﾄﾞﾊﾟﾝｳｫｯｼｬｰ
	救急患者用ﾄｲﾚ	2	適宜		車椅子ﾄｲﾚ（HWC）×1、共用×１	①車いす用WC（多機能WC）を1ヶ所設ける ②個室のWCを1ヶ所以上設ける								○							○				○				○	○	○										自動･混										
	（救急付属室ﾌﾞﾛｯｸ）																																																	
	通路スペース	1	適宜				○		医 レバー･混											○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動･単										
	待合	1	適宜			①20人程度が同時に待てるスペースを設ける						○								○	○			○	○			24時間							○	○	○														
	■救急部門					**①一次救急･二次救急を行う ②ドクターカーの導入は行わないが、患者搬送用車両１台を配置する ③救急車（３台）や自家用車がアクセスしやすい位置に配置する ④独歩患者と二次救急患者の動線を分離する ⑤感染者専用出入口はその他と分離する ⑥救急受付と守衛窓口は一つの窓口とする ⑦放射線検査部門との近接性に配慮し、各放射線検査室の近接優先順位は一般撮影→CT→MRI→血管造影となるように配慮する ⑧手術部門との動線短縮に配慮する ⑨薬剤部との薬品搬送動線に配慮し、小荷物搬送用EVの設置を検討する ⑩HCUへの患者搬送に考慮した配置とする**																																														

必要諸室		全般					建築等				電気設備																	機械設備																										
		面積																	LAN		コンセント				照明器具												医療ガス							衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
6.中央材料部門																																																							
中央材料室	洗浄消毒室	1	70	70		①洗浄機3台、乾燥機2台の設置を想定する ②回収エリアを設ける					○							○		○	○		○	○	○			24時間	○	○	○		○	高温 高圧			○							自動・単			○					単相200V、三相200V	超音波洗浄機、流し台（コンプレッサー内蔵）、乾燥機
	組立室	1	80	80							○							○		○	○		○	○	○			24時間	○	○	○		○	高温 高圧																	三相200V、ウォッシャーディスインフェクター用RO水送り配管・給排気配管	ウォッシャーディスインフェクター、チューブ乾燥機
	滅菌室	1	50	50		①哺乳瓶の消毒は病棟で行う ②プラズマ滅菌器1台、ホルマリン滅菌器1台を設置する ③空気清浄度class10,000とする					○									○	○			○	○			24時間																								ホルマリン用排気配管	プラズマ滅菌器、ホルマリン滅菌器
	オートクレーブ室	1	15	15		①オートクレーブを3台設置する														○	○		○					24時間			○		○	高温 高圧																	単相200V、三相200V、オートクレーブ用単独排水配管、RO水送り配管	オートクレーブ
	払出室	1	20	20		①外来・病棟にはカートにて払出しを行うが、臨時・緊急分はパスボックスにて行う					○							○		○				○	○			24時間																						パスボックス	
	器材倉庫	1	50	50							○									○				○	○																											
	中材事務所	1	20	20		①4-5人の同時使用が可能なスペースを設ける			医 レバー・混		○				○			○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○												自動・混										
	貸出物品　器材庫	1	15	15							○									○				○	○																											
	洗濯乾燥機室	1	15	15																○			○	○				24時間	○	○	○											レバー・混			○						三相200V	洗濯乾燥機
	RO水機械室	1	6	6																○	○		○		○				○		○			高温															RO水送り配管 三相200V	RO水発生装置
	■中央材料部門					**①洗浄、組立、滅菌それぞれのゾーンを分ける3層構造とする ②手術部門に隣接配置とする ③SPD倉庫との動線短縮に配慮する**																																															
7.薬剤部門																																																							
薬剤部	調剤室	1	230	230		①散薬の製剤スペースは区別すること ②クリーンベンチを設置する			医 レバー・混		○				○			○	○	○	○		○	○	○			24時間	○	○	○													自動・単									単相200V	水剤台、散薬分包機（集塵機付き）
	製剤室	1				①調剤室と一体で設ける			医 レバー・混		○				○			○	○	○	○		○	○	○			24時間	○	○	○												自動・単										
	注射製剤室	1				①調剤室と一体で設ける ②外来部門からのスタッフ動線に配慮すること			医 レバー・混		○				○			○	○	○	○		○	○	○			24時間	○	○	○													自動・単										
	薬品保管庫	1				①調剤室と一体で設ける ②オートアンプルディスペンサーの設置を想定する ③事務スペースを含む			医 レバー・混		○				○			○	○	○	○		○	○	○			24時間	○	○	○													自動・単										オートアンプルディスペンサー
	薬渡し窓口	1				①調剤室と一体で設ける		○			○				○			○		○	○			○	○			定時																							
	無菌製剤室	1	15	15	前室を含む	①安全キャビネットの設置を想定する ②空気清浄度class10,000			医 レバー・混		○					○		○		○	○			○	○			定時	○	○	○												自動・単									安全キャビネット用配線配管	安全キャビネット
	麻薬管理室	1	5	5							○							○	○	○	○			○	○			定時																						大型金庫
	DI室	1	15	15					医 レバー・混		○	○						○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○											自動・単										
	事務室兼カンファレンス室	1	45	45		①同時に15人程度が利用できるスペースを設ける					○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・単										
	当直室	1	6	6						医 レバー・混	○	○								○				○	○			24時間	○	○	○																				
	薬剤部長室	1	15	15							○							○	○	○	○			○	○			24時間	○		○											自動・単										
	相談室	1	15	15		①同時に4～5人が利用できるスペースを設ける					○							○		○	○				○			定時																							
	配薬カート置場	1	40	40		①調剤室内に配薬カート30台分のスペースを想定する					○									○				○	○																											
	検収スペース	1	10	10		①納入物品の検収のためのスペース														○				○	○																											
	治験事務局	1	15	15		①CRC1～2人の執務、書類倉庫スペースを設置する					○							○	○	○	○			○	○			24時間																							薬品保冷庫
	○薬剤部																																																						
サテライト	サテライトファーマシー	1	20	20		①HCU病棟と手術部門に近接して配置する ②HCU病棟と手術部門が同一階にない場合はそれぞれに近接して2室配置する ③輸液管理とミキシングを行う					○							○	○	○	○	○		○	○			24時間																							クリーンベンチ
	■薬剤部門					**①病棟への配薬に配慮し小荷物搬送用EVを設置する ②手術部門との動線短縮に配慮する ③外部からの納品動線に配慮する**																																															

必要諸室		全般					建築等				電気設備																	機械設備																							
		面積																	LAN		コンセント				照明器具												医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
8.放射線検査部門																																																					
1．放射線診断	一般撮影室（立位･臥位）	3	33	99	5.5m×6m程度	①更衣ゾーンを撮影室内に設置する ②各室に臥位･立位の設置を想定する ③内1室は5.5m×5m、内2室は5.5m×4mとする ④一室は救急部門からのアクセスに配慮した位置に配置する										○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	24時間							○	○															装置付随設備対応、標示灯 架台･ｱﾝｶｰ	一般撮影装置
	（将来用一般撮影室）	1			将来想定											○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	24時間							○	○															装置付随設備対応、標示灯	
	乳房撮影室	1	30	30	5m×6m程度	①更衣は撮影室内に設置する ②個別の待合（4人程度）を設ける ③一般撮影室に近隣する			自動･混	自動･混						○	○	○			○			○	○	○	○	○	定時							○	○															装置付随設備対応、標示灯	乳房X線撮影装置
	骨密度測定室	1	17.5	17.5	3.5m×5m程度	①一般撮影室に近隣する										○	○	○			○			○	○	○	○	○	24時間							○	○															装置付随設備対応、標示灯	骨密度測定装置
	透視室	2	36	72		①1室は6.5m×6.5m、1室は5m×6mとする ②待合に洗面化粧台を設置する			自動･混							○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	24時間	○	○	○				○	○						自動･混				○						装置付随設備対応、標示灯	X線TV撮影装置
	透視更衣室	3	3	9		①大きい透視室に接続する										○	○	○			○			○	○	○	○	○	24時間														自動･混										装置付随設備対応、標示灯	
	患者WC（X-TV室外）	3	3	9	1.5m×2m程度									○							○						○			○	○	○											自動･混											
	透視室前室	1	5	5						自動･混				○				○	○	○	○			○	○	○				○	○	○											自動･混										装置付随設備対応、標示灯	
	血管撮影室	2	48	96	8.0m×6.0m程度	①空気清浄度class10,000			自動･混							○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	24時間	○	○	○				○	○	○				○		自動･混			○					観察ｶﾒﾗ、ｱｲｿﾚｰｼｮﾝ盤、標示灯 架台･ｱﾝｶｰ	血管造影X線撮影装置
	同上前室	2	適宜			①血管撮影室2室の共有とするが、間で2室に区切れるようにする ②空気清浄度class10,000				自動･混				○				○		○					○	○			24時間	○	○	○											自動･混	○								観察ｶﾒﾗ、ｱｲｿﾚｰｼｮﾝ盤、標示灯	
	同上機械室	2	10	20	2.5m×4.0m程度											○		○			○			○	○	○			24時間																						装置付随設備対応	
	同上 ｽﾀｯﾌ更衣室	2	4.5	9	1.5m×3.0m程度																○				○	○																										
	同上 患者用更衣室	1	4.5	4.5	1.5m×3.0m程度									○							○					○																										
	同上 前処置室	2	9	18	3.0m×3.0m程度									○				○			○				○	○			24時間	○	○	○											自動･混											
	同上 ｽﾀｯﾌｼｬﾜｰ室（SU）	1	4.5	4.5	1.5m×3.0m程度																				○					○	○	○											自動･混							○			
	倉庫･待合（将来血管撮影室）	1	121	121	11m×11m程度	①血管撮影室の予備スペースを8m×6mとし、その他予備スペースを含め11m×11m程度とする				自動･混		○				○					○				○	○			24時間	○	○	○				○	○	○				○		自動･混										架台用ｱﾝｶｰ	
	ｶﾃｰﾃﾙ保管庫	1	8	8	2.0m×4.0m程度																○				○																											
	CT室	2	42	84	7m×6m程度	①1室は前室を経由せず直接入室できるように配置する			レバー･混							○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	24時間	○	○	○				○	○						自動･混										装置付随設備対応、標示灯 ｲﾝｼﾞｪｸﾀｰ用架台･ｱﾝｶｰ	全身用X線コンピューター断層撮影装置
	CT室更衣室	4	5	20																	○				○	○			定時																							
	CT室前室･前処置･回復室	2	20	40						自動･混				○				○	○	○			○	○	○			24時間	○	○	○											自動･混										装置付随設備対応、標示灯	
	CT機械室	1	12	12	3m×4m程度											○		○			○	○		○	○	○			24時間																						装置付随設備対応、チラー用配管	
	MRI室	2	48	96	6.0m×8.0m程度	①３TのMRI設置を想定する										○	○	○			○	○		○	○	○	○	○	24時間	○	○	○				○	○						自動･混										装置付随設備対応、標示灯 ｸｴﾝﾁ配管、チラー用配管	超電導磁気共鳴診断装置（３T）
	MRI室前室･前処置･回復室	2	15	30		①MRI室２室共通				自動･混				○				○	○	○			○	○	○			24時間	○	○	○											自動･混										装置付随設備対応、標示灯	
	MRI室更衣室	4	5	20		①内１室は車椅子対応とする															○				○	○			定時																							
	MRI機械室	2	10	20	2.5m×4m程度											○		○			○	○			○	○			24時間																						装置付随設備対応、チラー用配管	
	ESWL（結石破砕室）	1	30	30	5.0m×6.0m程度 更衣室含む	①更衣ゾーンを設ける ②患者用WCを設ける ③機械発生音に配慮し建物の端部への設置を検討する ④放射線部門内に設置するが、外来の泌尿器科との動線短縮に配慮する				自動･混				○		○	○	○			○	○			○	○	○	24時間	○	○	○				○	○						自動･混				○						結石破砕装置
	（画像診断諸室）																																																				
	待合	1	適宜							自動･混		○	○					○	○	○	○			○	○			定時																						患者待合表示対応、観察ｶﾒﾗ	
	操作ホール	1	適宜			①手洗器は各撮影室毎に設ける ②画像整理管理用のPC10台程度を配置できるスペースを確保				自動･混	○	○	○					○	○	○	○		○	○	○	○		24時間	○	○	○												自動･混								装置電源盤、待合観察ﾓﾆﾀｰ	操作卓
	受付	適宜	適宜			①適宜数設けるが、CT･MRI専用は1ヶ所設ける		○		自動･混	○		○	○				○	○	○	○			○	○			定時																							
	放射線科読影室	1	30	30		①5人分のPC作業ｴﾘｱを設置する				自動･混	○			○				○	○	○	○			○	○	○	○	24時間	○	○	○											自動･混											
	技師室	1	50	50		①技師室、倉庫、当直室、業務管理室は集約配置する ②30人程度使用			レバー･混	自動･混	○	○						○	○	○				○	○	○		24時間	○	○	○												自動･混											
	倉庫	1	10	10		①技師室、倉庫、当直室、業務管理室は集約配置する												○	○	○				○																													
	当直室	1	6	6		①ﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰを設置する ②技師室、倉庫、当直室、業務管理室は集約配置する				レバー･混	○	○						○	○	○				○	○	○		24時間	○	○	○																							
	放射線科医室	2	6	12		①放射線科読影室と近隣させる ②CT･MRI操作室との動線に配慮する				レバー･混	○							○	○	○	○			○	○	○		24時間	○	○	○																							
	業務管理室	1	30	30		①技師室、倉庫、当直室、業務管理室は集約配置する				レバー･混	○							○	○	○	○			○	○	○		24時間	○	○	○																							
	診察面談室	1	10	10		①被爆認定施設の認定要件が満たせるものとする				レバー･混	○							○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○																							
	ｽﾀｯﾌWC	2	適宜	適宜		①男女各1室ずつ設ける ②放射線検査区画内の配置とする															○				○					○		○											自動･混											
	（必要諸室）																																																				
	■放射線検査部門					**①救急部門との動線短縮に配慮する ②手術部門との動線短縮に配慮する ③時間外、夜間にアクセスできないようセキュリティに配慮する ④患者用EVからCT、MRI、血管撮影室の動線短縮に配慮する ⑤各検査室には覗き窓を設置する**																																															

必要諸室		全般					建築等				電気設備																	機械設備																										
		面積																	LAN		コンセント				照明器具													医療ガス						衛生器具											
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	：無線対応含	電子カルテ用ネット用	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
9.検査部門																																																								
1．検体検査室	検体検査室	1	200	200		①免疫検査（2台）、血液分析（2台）、生化学分析（2台）、輸血分析（2台）、一般検査（2台）の各装置を設置し、作業ができるスペースを確保すること ②時間外受付を設置する ③外来の採血部門と隣接配置とする	○	○	医 レバー･混		○				○			○	○	○	○	○	○	○	○			24時間	○	○	○			感染												自動･単			○			○		単相200V、三相200V	生化学自動分析装置、免疫検査装置、血液分析装置、輸血分析装置、一般検査装置
	当直室	1	6	6		①夜間、当直に適した静かな場所に設置する				医 レバー･混	○	○			○						○				○	○	○		24時間	○	○	○																					
	執務室	1	20	20		①廊下の近傍に設置する ②3-5人程度の執務スペースと応接スペースを設ける	○				○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○												自動･混											
	スタッフ用トイレ	1	適宜																		○					○				○	○	○											自動･混											
	保管庫	1	6	6		①器材庫、検体保存等のスペースとして確保すること															○	○			○	○			24時間																								
	試薬保管庫	1	6	6		①適切な温度管理ができる仕様とする					○								○	○	○	○		○	○	○			24時間																							三相200V プレハブ保管庫･室外機間配管	プレハブ保管庫
	○検体検査室					**①検査部門と救急部門、手術･HCU部門間で検体の搬送を想定するため、縦動線を確保する 前述の部門間全ての縦動線を確保することが難しい場合は検査部門と手術･HCU部門間の縦動線を優先し、検査部門と救急部門間の搬送も考慮した計画とすること ②採血部門との動線短縮に配慮し、隣接配置を検討する**																																																
2．細菌検査	細菌検査室	1	35	35		①安全キャビネット、検査台2台程度の他細菌検査に必要な検査機器を設置し、作業ができるスペースを確保すること ②陰圧対応とすること	○		医 レバー･混		○							○	○	○	○		○	○	○			24時間	○	○	○			感染												自動･単								安全キャビネット用配管	安全キャビネット、細菌固定感受性装置
	前室	1	適宜			①細菌検査室の前室、検体受付（細菌）として設置すること ②試薬保管庫を設置できるスペースを確保すること ③細菌検査室との差圧を確認するための差圧計を設置すること ④検体検査室と細菌検査室の間に設置すること															○				○	○			24時間	○	○	○													自動･単								パスボックス	
	○細菌検査																																																							
3．輸血部門	輸血検査室	1	35	35		①輸血検査に関する各種機器を設置し、作業ができるスペースを確保すること ②検査室、検体保存室エリアを区分しない	○		医 レバー･混		○							○	○	○	○		○	○	○			24時間	○	○	○			感染												自動･単									冷蔵庫、全自動輸血検査装置
	検体保存室				輸血検査室に含む																																																		
	○輸血部門																																																							
4．生理検査	エコー室　　大	2	18	36		①ベッド搬送可能な広さを確保すること ②所見･診察用スペースを確保すること	○		医 レバー･混		○							○	○	○	○		○	○	○			24時間	○	○	○				○	○																	超音波検査装置
	エコー室　　小	2	14	28		①所見･診察用スペースを確保すること	○				○							○	○	○	○			○	○	○		24時間	○	○	○				○	○							自動･単									超音波検査装置
	心電図室	1	30	30			○				○							○	○	○	○			○	○			24時間							○	○						自動･混									心電計
	呼吸機能室	1				①心電図室と一室配置とする			医 レバー･混		○							○		○	○			○	○			24時間	○	○	○				○	○							自動･単									
	RHI･SPP室	1				①心電図室と一室配置とする												○																																		
	PWV室　脈波伝播速度検査	1				①心電図室と一室配置とする												○																																		
	ABI室　足関節上脈血圧比検査	1				①筋電図･神経室と一室配置とする												○								○																										
	脳波室	1	10	10		①シールドルームとすること	○				○							○		○	○			○	○	○		24時間							○	○														観察カメラ	
	脳波室前室	1	適宜																		○				○	○																	自動･混								観察カメラモニター	
	洗髪用洗面台	1	適宜			①脳波室付近に配置する				医 レバー･混											○				○					○	○	○																○	洗髪流し、ヘアトラップ	
	筋電図･神経室	1	10	10	3m×3.5m程度	①脳波検査も実施できること ②シールドルームとすること	○		医 レバー･混		○							○		○	○		○	○	○	○		24時間							○	○															
	運動負荷心電図室	1	15	15			○				○							○		○	○		○	○	○			24時間							○	○														単相200V	トレッドミル
	運動負荷心電図室　前室	1	適宜				○				○							○		○	○		○	○	○			24時間							○	○						自動･混									
	技師所見室	1	20	20	カンファレンス室共用		○				○							○	○	○			○	○				24時間	○	○	○											自動･混									
	（必要諸室）																																																						
	通路スペース	1	適宜															○	○	○				○	○			定時																							
	待合	1	適宜			①ベッドにて患者が待つスペースを確保すること						○								○				○	○			定時																							
	受付	1	適宜			①2名の受付スタッフスペースを設けること	○				○		○					○	○	○	○			○	○			定時																							
	スタッフ用トイレ	1	適宜																	○					○				○	○	○											自動･混									
	○生理検査					**①各検査室の出入口はベッドでの入室が可能な幅を確保する ②患者用EVとの動線短縮に配慮する**																																																
	■検査科																																																						

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																										
		面積															LAN		コンセント			照明器具												医療ガス							衛生器具												
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	排除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
10.病理部門																																																						
1．病理検査	切出室･固定室	1	20	20		①安全キャビネット、局所排気装置を設置し、作業ができるスペースを確保すること ②包埋･薄切室と隣接すること ③ホルマリンに対応した排気設備を設けること			医 レバー･混		○			○			○	○	○	○		○	○	○		24時間	○	○	○			感染											自動･単			○					安全キャビネット･局所排気装置用配管、臓器撮影装置用配管	安全キャビネット、局所排気装置、臓器撮影装置、切り出し台
	検体受付コーナー	1				①包埋･薄切室内に設置する												○	○																																		
	顕微鏡室	2	15	30		①合わせて顕微鏡5台、資料保管、病理医･技師の計5人程度の執務スペースを設置する ②職員共用廊下から直接入室できるよう配置にすること					○							○	○	○	○		○	○			24時間	○		○													自動･単										顕微鏡
	包埋･薄切室	1	50	50		①顕微鏡1台を設置するスペースを設けること ②包埋装置に、大型ダクト接続式局所換気装置（床置型）を設置するために、天井にダクト接続を設けること ③包埋場所、薄切場所にダクト接続式局所換気装置（卓上型）を設置するために、天井にダクト接続口を設けること ④2人程度の執務スペースを設ける ⑤ホルマリンに対応した排気設備を設けること			医 レバー･混		○			○			○		○	○		○	○	○		24時間	○	○	○	○		感染											自動･単			○					単相200V、包埋装置用配管、局所換気装置用配管、ホルマリン除去装置	包埋装置、自動染色装置、自動封入装置、パラフィンブロック作成装置、ミクロトーム、局所換気装置、遠心機
	染色･封入･細胞診検体処理	1			包理･薄切室と一室	①遠心機の他、塗抹、染色、封入等に必要な機器を設置し、作業ができるスペースを確保する ②組織切出場所、自動染色装置、組織保管庫、細胞診処理場所、手動染色場所、標本封入場所にダクト接続式局所換気装置（卓上型）を設置するために、天井にダクト接続口を設ける			医 レバー･混		○			○			○		○	○		○	○	○		24時間	○	○	○	○		感染											自動･単			○						
	資料･カルテ保存室	1	6	6														○	○	○				○				24時間																							
	手術材料室	1	6	6	有機溶媒一時保管室含む	①ホルマリンに対応した排気設備を設けること														○				○				24時間	○		○			感染								自動･単										臓器撮影装置
	保管室	2	15	30		①ブロックエリア、スライドエリアを設けること ②ホルマリンに対応した排気設備を設けること														○				○				24時間																							
	スタッフ用トイレ	2	1.5	3																○					○				○		○										自動･単										
	○病理検査																																																				
2．霊安室･病理解剖室	職員用出入口	1	適宜												○					○				○	○																												
	更衣室	1	6	6																○				○	○				○	○	○										自動･混											
	ｽﾀｯﾌWC	2	適宜																	○					○				○	○	○										自動･混											
	ｼｬﾜｰ室	1	10	10	US+更衣室															○				○	○				○	○	○																○				
	前室	1	10	10	US+更衣室	①スタッフ用の前室として設置すること ②清拭を行うための流し台を設置すること ③陰圧対応とすること ④ストレッチャーが入れるスペースを確保すること			医 レバー･混											○				○	○			24時間	○	○	○											自動･単											
	解剖室	1	30	30		①解剖台、器材棚等を設置した上で、解剖が行えるスペースを確保すること ②部屋の四角入隅床付近に排気口を設けること ③陰圧対応とすること ④プッシュプル換気装置を設置するために、天井にダクト接続口を設けること ⑤湿式対応とすること ⑥記載スペースを設ける			医 レバー･混		○			○			○	○	○	○		○	○	○		24時間	○	○	○			感染											自動･単			○					ﾗﾐﾅﾌﾛｰ用排気配管、架台･アンカー	解剖台、ﾗﾐﾅﾌﾛｰ、臓器撮影装置、流し台
	切出室	1	15	15		①安全キャビネットを設置し、作業ができるスペースを確保すること ②解剖室と一室配置とする			医 レバー･混		○			○			○	○	○	○		○	○	○		24時間	○	○	○			感染								自動･単			○					局所換気装置用配管	局所換気装置
	標本室	1	15	15		①ホルマリンの調整、保管を行う ②解剖後摘出した臓器を一時保管すること ③陰圧対応とすること ④ホルマリンの調整、保管場所、臓器の一時保管場所にはホルマリンに対応した局所排気口を設けること												○	○	○				○			24時間																						移動収納棚用レール埋め込み	移動収納棚
	遺体冷蔵庫	1	8	8		①パススルー形式の冷蔵庫は導入しない														○	○		○	○	○		24時間			○																	三相200V、ドレーン用排水	遺体冷蔵庫
	霊安室	1	20	20	3m×4m程度															○				○	○			24時間																			遺体観察ｶﾒﾗ	
	家族控室	1	12	12	3m×4m程度	①同時に4人が使用できるスペースを設ける				自動･混	○	○							○	○				○	○			24時間	○	○	○																			
	ロビー･エントランス	1	20	20	3m×5m程度							○			○				○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動･単										
	○霊安室･病理解剖室																																																				
	■病理部門																																																				
11.MEセンター部門																																																					
MEセンター	ME室	1	80	80		①充電用電源を設けること ②執務ｴﾘｱ、倉庫を兼ねたスペースとする ③個人用透析装置、RO装置、透析材料の他場所を別途適宜設ける					○							○	○	○	○			○	○		24時間	○	○	○				○	○	○	○					自動･混								MEﾒﾝﾃﾅﾝｽ用の床排水を設ける	
	ME管理室	1	5	5		①ME室と一体的に設ける、科長の執務、面談スペース				レバー･混	○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																			
	■MEセンター部門																																																				

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																								
		面積																	LAN		コンセント			照明器具										医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用；無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
12.内視鏡検査部門																																																				
内視鏡検査室	内視鏡室	5	20	100	3.6m×5.5m程度	①内2室はベッド搬入可能なスペースを確保すること ②上部と下部の併用を行う ③1室の将来拡張スペースを設ける	○				○							○	○	○	○			○	○	○		24時間	○	○	○				○	○				○				自動・単							内視鏡モニター、医ガス等の配線・配管経路は天井収まりとする シーリングペンダント用架台・アンカー	内視鏡モニター、シーリングペンダント
	透視撮影室	1	42	42	6m×8m程度　更衣室含む	①気管支鏡検査に備え、陰圧対応可能とすること ②操作室6m×2m,撮影室6m×6mを設けること	○		医 レバー・混		○				○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	24時間	○	○	○				○	○				○		自動・混								装置付随設備対応、標示灯	X線TV撮影装置
	受付	1	適宜					○			○				○			○	○	○	○			○	○			24時間																						
	患者用トイレ　　個室	3	適宜			①手洗いはトイレとは別室とする								○						○					○				○	○	○										自動・混									
	患者用トイレ　　車椅子用	1	5	5										○						○					○				○	○	○										自動・混						○			
	患者用シャワー	1	6	6	US+更衣室	①更衣室を設ける								○						○				○	○				○	○	○										自動・混									
	患者用更衣室　男女	2	4	8	10人×0.35人/㎡　男女各１	①男女を区分し、同時に計10人程度が使用可能なスペースを設ける								○						○				○	○			24時間																						
	患者用更衣室　車椅子	1	適宜			①車椅子の患者が使用できる広さとする								○						○				○	○			24時間																						
	前処置室	1	20	20	上部下部合わせ5人＋車椅子3台	①上部と下部消化管検査の前処置:5人分＋車椅子3台分程度のスペースと椅子、テーブル、テレビが設置可能なスペースを確保すること						○		○				○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○												自動・混									
	リカバリー室	1	60	60	12チェア	①上部、下部で共用 ②リクライニング可能なベッド台数:12台が設置可能なスペースを確保すること ③内視鏡室と隣接配置すること								○				○		○	○			○	○	○				○		○				○	○							自動・単									リクライニングチェア
	説明室	1	10	10	2.5m×4m程度程度	①同時に5-6人程度が使用可能なスペースを設ける					○							○	○	○	○			○	○			24時間																						
	洗浄室	1	40	40		①洗浄エリアと器材保管･準備室は、洗浄済み器材の衛生管理が十分に行えるように配置すること ②検査室のバックヤードに配置する ③清潔･不潔動線に配慮する	○		医 レバー・混		○							○	○	○				○				24時間	○	○	○			中和										自動・単			○					洗浄機臭気対策排気配管	内視鏡洗浄機
	内視鏡保管庫	1	適宜																	○					○																									
	器材室	1	10	10		①医薬品、診療材料等の棚、及び保管棚を設置し、各準備作業ができるスペースを確保すること														○	○			○	○			24時間																						
	カンファレンス室	1	12	12							○	○						○	○	○	○			○	○			24時間														自動・混									
	（必要諸室）																																																		
	廊下･通路	1	適宜																	○				○	○			24時間																						
	待合	1	適宜			①同時に10人程度が使用できるスペースを確保する						○								○				○	○			24時間							○	○														
	外待合	1	適宜			①同時に10人程度が使用できるスペースを確保する ②家族用の待合スペースとする						○								○				○	○																										
	○内視鏡検査																																																		
	■内視鏡検査科																																																		
13.リハビリテーション部門																																																			
リハビリテーションセンター	理学療法室	1	300以上	300以上		①同一時間:20名の訓練ができるスペースを確保すること ②脳血管疾患等リハビリテーションⅠ（併用可）、運動器リハビリテーションⅠ（併用可）、呼吸器リハビリテーションⅠ（併用可）、心大血管疾患リハビリテーションⅠ、がん患者リハビリテーションⅠを別々に取得できること（有効面積300㎡） ③直線で20mの歩行可能なスペースを確保すること ④衝撃を吸収する内装材とすること				自動・混	○			○	○			○	○	○	○		○	○	○	○		定時	○	○	○			高温	○	○							自動・混	自動・混							単相200V	製氷機、ホットパック、低周波治療装置、チルトテーブル
	作業療法室（ADLコーナー）	1				①キッチン（昇降式、IH、フード、給水･給湯･排水）、洗濯機、畳等を設置できるスペースを確保すること ②理学療法室と同一室とする ③衝撃を吸収する内装材とすること			自動・混	自動・混					○			○	○	○			○	○	○			定時	○	○	○				○	○								自動・混							単相200V 、三相200V 肋木・オーバーヘッドフレーム用天井・壁補強	肋木・オーバーヘッドフレーム ADLキッチン
	言語療法室	3	10以上	30以上		①脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰの個別療法室の施設基準を確保すること（有効面積8㎡） ②音への配慮をおこなうこと ③衝撃を吸収する内装材とすること				自動・混	○			○	○			○	○	○	○			○	○	○		定時	○	○	○																					
	多目的室	1	12	12		①同時に5-6人程度が使用できるスペースを設ける ②診察室に隣接して設けること					○	○			○			○	○	○	○			○	○	○		定時	○	○	○												自動・混									
	受付	1	適宜			①1～2名が受付の執務をできるスペースを確保すること ②リハビリステーション室の中が見渡せるように配置すること		○			○			○	○			○	○	○	○			○	○			定時																							
	スタッフエリア	1	63	63	2.5㎡/人×25人（想定）	①25名の執務スペースを確保すること ②リハビリステーション室が見渡せるように配置すること ③受付と隣接配置すること			レバー・混		○	○			○			○	○	○	○		○	○	○			定時	○	○	○												自動・混								製氷機	製氷機
	待合	1	9	9								○			○				○	○	○			○	○			定時																						
	カンファレンス室	1	20	20							○	○			○			○	○	○	○			○	○	○		定時	○	○	○												自動・混									
	診察室	1	10	10							○	○			○			○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○												自動・混									
	器材庫	1	適宜												○					○				○	○																										
	患者トイレ	2	適宜			①車椅子対応とする ②他部門と兼用できるように部門外廊下に設置								○						○				○	○				○	○	○											自動・混									
	■リハビリテーション部門					**①休日リハビリに対応する ②病棟からの動線に配慮すること（脳神経外科、循環器･呼吸器･整形外科系） ③外来からのアプローチに配慮すること ④屋外庭園の利用を行う ⑤採光に配慮すること**																																													

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																						
		面積																	LAN		コンセント			照明器具												医療ガス						衛生器具										
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	：無線対応含 電子カルテ用	ネット用 一般インター	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
14.栄養課部門																																																			
栄養課	検収室	1	適宜			①栄養管理室に近接し、かつ業者からの搬入が容易な場所に設置すること ②ゴミ排出ルートと搬入ルートがクロスしない動線とすること ③検収に必要な備品を置き、検収作業ができるスペースを確保すること ④検収室から食品保管関係室への物品の搬入動線に配慮した配置とすること					○			○						○	○			○	○			24時間	○	○	○													自動・混										
	冷蔵室	1	適宜			①4～5日分の食品が保管可能な冷蔵庫を設置すること ②プレハブ冷蔵庫とすること															○	○	○	○	○			24時間	○		○																					三相200V、プレハブ冷蔵庫 プレハブ冷蔵庫・室外機間配管	
	冷凍室	1	適宜			①4～5日分の食品が保管可能な冷蔵庫を設置すること ②プレハブ冷凍庫とすること															○	○	○	○	○			24時間	○		○																					三相200V、プレハブ冷凍庫 プレハブ冷凍庫・室外機間配管	
	チルド室	1	適宜			①朝食用ｸｯｸﾁﾙを運用する															○	○	○	○	○			24時間	○		○																					三相200V	
	食品庫	1	適宜			①5日分の食品が保管可能なスペースを確保すること ②日用品用の冷蔵庫を設置すること															○	○	○		○	○			24時間	○		○																						
	倉庫	1	適宜			①予備の食器、消耗品を保管する															○	○	○		○	○			24時間	○		○																						
	下処理室	1	適宜			①肉、魚及び野菜の作業動線が分かること ②調理室との間に、パススルー式冷蔵庫、乾物品等の受け渡しのためのパスボックスを設置すること					○									○	○		○	○	○			24時間	○	○	○			厨房									自動・混										三相200V パスボックス	
	調理室	1	適宜			①ｸｯｸｻｰﾌﾞ方式で調理を基本とする。但し、朝食はｸｯｸﾁﾙ方式での調理を可能とすること ②下処理室との間に、パススルー式冷蔵庫、乾物品等の受け渡しの為のパスボックスを設置すること					○									○	○	○	○	○	○			24時間	○	○	○	○		厨房									自動・混										三相200V、単相200V パスボックス	
	盛付スペース	1	適宜			①洗浄室との間には、パススルー式食器消毒保管庫を設置すること ②配膳車プールとの間にパススルーの棚を設置する														○	○	○		○	○			24時間	○	○	○												自動・混										
	配膳車プール	1	適宜			①温冷配膳車:10台程度（病棟部門+透析部門）が充電可能とし、配膳車廻りでの作業ができるスペースを確保すること ②温冷配膳車の清拭スペースを確保すること														○	○	○	○	○	○			24時間	○	○	○												自動・混										三相200V	
	衛生準備室（前室）	1	適宜			①厨房に入る前の手洗い、身支度を行う ②ｽﾀｯﾌ用手洗器は、肘まで洗える構造の自動式混合水栓とすること ③下処理室･衛生区域に対し、それぞれの出入口を設けること				自動・混										○	○			○	○			24時間	○	○	○												自動・混										三相200V	
	下膳車プール･洗浄室	1	適宜			①下膳車プールから洗浄室への動線を確保する ②洗浄用の室とし一角に回収後の下膳車10台を一時保管できるスペースを確保すること					○									○	○		○	○	○			24時間	○	○	○			厨房									自動・混										三相200V	
	トイレ	4	適宜			①衛生区画と汚染区画に、それぞれ男性用１室、女性用1室の個室を設ける ②調理スペースから3m以上離隔距離をとること	○													○				○	○				○	○	○												自動・混										
	更衣室兼休憩室	2	適宜			①男女別とし、合計40人程度のスペースを設ける				レバー･混	○	○								○				○	○			24時間	○	○	○																					
	栄養課事務室	1	適宜			①配膳室が目視確認できる場所に配置すること ②配膳室との間には、書類等の受け渡しのためのパスボックスを設置すること ③病院側栄養士と委託側栄養士が執務できるスペースを確保すること	○		レバー･混		○			○			○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○	○																				パスボックス	
	事務室	1	適宜				○			自動・混	○	○			○			○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○	○										自動・混											
	ギャベジ室	1	適宜				○													○				○	○			24時間	○		○												自動・単		○	○						
	備蓄倉庫	1	適宜			①経管栄養食･非常食の保管庫とする														○				○	○			24時間																							
	■栄養課					**①900-1050食/日を想定する ②クックサーブを基本とし、一部ｸｯｸﾁﾙ（朝食対応）を導入する ③HACCPの導入を想定する ④熱源は電気とガスのベストミックスとし、災害時に配慮する ⑤配膳･下膳･ゴミ動線の分離に配慮する**																																													
15.PFM部門 Patient Flow Management																																																		
がん支援センター	相談室	2	12	24							○							○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○											自動・混										
	がん支援センター　計			24																																															
PFM部門	ｽﾀｯﾌ用オフィス	1	180	180		①同時に40人程度が作業できるスペースを設ける ②固定席ではなくフリーアドレスで作業を行う					○			○			○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○												自動・混										
	説明相談ﾌﾞｰｽ　ｶｳﾝﾀｰ	5	9	45	3m×1.5m/人×10人	①車椅子対応で5ブースの設置を行う ②プライバシーに配慮し雁行型のカウンターとする												○		○	○			○	○			定時																								
	説明相談　　個室	5	16	80	4.5m×3.5m程度	①同時に4-5人が使用できるスペースを設ける ②車椅子で入室ができるものとする ③苦情対応として出入口2つ、観察カメラ、呼出ボタンを設置する							○					○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○																					
	受付カウンター	1	適宜								○		○					○	○	○	○			○	○																											
	待合ラウンジ	1	40	40		①5組程度、20人程度が同時に待てるスペースを設置する						○	○						○	○	○			○	○			定時																								
	情報コーナー	1	40	40		①チラシ棚、インターネットコーナーを設置する						○	○					○	○	○	○			○	○			定時																								
	カンファレンス	1	20	20		①同時に10人程度が使用できるスペースを設ける					○							○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○				○	○					自動・混										
	スキャンセンター	1	適宜			①2人程度の執務スペースとする												○	○	○	○			○	○			定時																							
	■PFM部門					**①入退院支援センター業務を行う ②総合相談室としての業務を行う ③在宅療養支援室としての業務を行う ④地域医療連携室としての業務を行う ⑤栄養相談･指導室としての業務を行う**																																												

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																							
		面積																	LAN		コンセント				照明器具												医療ガス						衛生器具									
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
16.管理部門																																																				
職員管理	院長室	1	18	18	6m×3m程度	①事務机、キャビネット、応接セットを想定する				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	理事長・副理事長室	1	30	30		①事務机、キャビネット、応接セットを各3セット想定する				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	看護部長室	1	18	18	6m×3m程度	①事務机、キャビネット、応接セット（ミーティングスペース）を想定する			レバー・混	自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	事務長室	1	18	18	6m×3m程度　事務室隣接	①事務机、キャビネットを想定する ②事務室に隣接する				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	○職員管理　計			84																																															
管理系諸室	業者打合せ室	4	15	60	3m×5m程度	①4名が利用できるスペースを設けること					○								○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混									
	医局	1	450	450	医師100人 ラウンジ・医局事務を含む 部長以上はブース席（診療科部長＋副部長　30人程度）	①ラウンジ、医局事務を含む ②オープンスペース:70名分程度 ③ブース席：診療科部長＋副部長　30人程度			レバー・混	自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混									
	ﾒﾃﾞｨｶﾙｱｼｽﾀﾝﾄｽﾍﾟｰｽ	1	20	20		①4-5席＋医局秘書が利用できるスペースを設けること ②医局内に設けること					○	○						○	○	○	○			○	○			24時間																							
	研修医専用施設	1	40	40		①研修医20人程度のオープンスペースを設けること ②執務エリアとミーティングエリアを設けること			レバー・混	自動・混	○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｽﾍﾟｰｽ	1	20	20		①医局と研修医専用施設の間に配置 ②共用休憩やカンファレンスに使用できるオープンスペースとする ③内視鏡・腹腔鏡のデモを行えるようにする			レバー・混		○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混									
	看護部事務室	1	40	40		①執務5人＋ミーティング10人＋給湯スペース程度のオープンスペースを設けること ②看護部長室に隣接させる			レバー・混		○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	看護実習生室	1	50	50		①看護部事務室に近接させる ②移動間仕切りにて2室に分割可能な設えとする			レバー・混		○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	講堂　兼職員食堂	1	300	300	200-300人　パントリー・WC・厨房30㎡含む	①講堂としての使用時も、可動間仕切りによって一部職員食堂として使用できること ②研修会、講演会、学術発表会に対応可能な映像・音響設備を設けること ③定員は200-300人程度とする ④専用の厨房を設ける		○	レバー・混	自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○	○	○	厨房								自動・混								三相200V	
	会議室　　大	1	100	100		①スクリーン、映像、音響設備を設けること。 ②可動間仕切りを設置し2室として利用を可能とすること ③定員は50-100人程度とする ④健診室、災害対策室としての機能も兼用する					○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混									
	会議室　　中	2	50	100		①可動間仕切りを設置し2室として利用を可能とすること ②定員は30-50人程度とする					○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混									
	会議室　　小	3	30	90		①定員は10-30人程度とする					○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混									
	職員更衣室（男）	1	135	135	洗面＋WCを加える	①約300名分のﾛｯｶｰが設置できるスペースを確保すること ②洗面コーナーを設けること ③清潔ユニフォーム及び不潔ユニフォーム置場が設置可能なスペースを確保すること				自動・混	○									○				○	○			24時間	○	○	○																					
	職員更衣室（女）	1	240	240	洗面＋WCを加える	①約600名分のﾛｯｶｰが設置できるスペースを確保すること ②パウダーコーナーを設けること ③清潔ユニフォーム及び不潔ユニフォーム置き場が設置可能なスペースを確保すること				自動・混	○									○				○	○			24時間	○	○	○																					
	ﾕﾆﾌｫｰﾑｽﾄｯｸ	適宜	適宜			①各職員更衣室に設置すること ②更衣室ｾｷｭﾘﾃｨの外側に設けること														○				○	○																											
	当直センター	1	80	80	医師分。US2室＋当直室6室	①医師用として当直室6室とﾕﾆｯﾄｼｬﾜｰ2ヶ所を設けること ②当直用ﾍﾞｯﾄﾞ:1台を設置できるスペースを確保すること				自動・混	○	○						○	○	○				○	○			24時間	○	○	○																					
	職員休憩室	7	30	210		①1階-7階に各1箇所設置すること				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	ﾚﾃﾞｨｰｽｽﾍﾟｰｽ	2	10	20						自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	清掃員控室	1	20	20						レバー・混	○	○								○				○				24時間	○	○	○																					
	清掃用具庫	3	10	30																○				○					○	○												レバー・単			○							
	○管理系諸室																																																		

必要諸室		全般					建築等				電気設備																機械設備																							
部門名	諸室名	面積			備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	LAN		コンセント			照明器具				空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	医療ガス							衛生器具									備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
		室数	想定面積	規模㎡														電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他								酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機		
医事課・事務室	総合受付	1	21	21	2.5m×8.4m程度 7受付×1.2m＋通路等	①新患2、再診2、紹介2、文書1の受付ブースを設けること ②再診受付機4台分のスペースを近傍に設ける		○			○		○					○	○	○	○			○	○			定時																							再診受付機
	会計受付	1	6	6	2.5m×2.4m程度 2受付×1.2m＋通路等	①計算2、会計2の受付ブースを設けること ②自動精算機2台分のスペースの近接に設けること ③会計待ち表示システムの設置を想定すること		○			○		○					○	○	○	○			○	○			定時																						会計待ち表示システム用配管、補強	自動精算機、会計待ち表示システム
	医事課	1	120	120		①外来受診患者の受診科相談・案内、診察申込書記入の案内、家族・面会者等の質問対応、体の不自由な方への対応、再診受付機の使用方法の説明等 ②20人程度（総合受付、計算、会計等）、10人程度（庶務関係）の執務スペースとする				レバー・混		○	○					○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																				高速衛星通信設備、非常押釦表示盤（医事ｴﾘｱ　相談室）	
	医事課当直室	1	6	6						自動・混	○	○						○	○	○	○			○				24時間	○	○	○																				
	事務室	2	80	160		①金庫を設置する				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																				金庫
	事務当直室	1	6	6		①休憩室としても使用する				自動・混	○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																				
	医療安全室	1	20	20		①2人程度の執務スペースとする ②感染対策室と同一室とする					○	○						○	○	○	○			○	○			定時	○	○	○											自動・混										
	感染対策室	1				①2人程度の執務スペースとする ②医療安全室と同一室とする			レバー・混		○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混										
	診療情報管理室	1	70	70		①医局に隣接して設置する ②10人程度の執務スペースとする					○	○						○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動・混										
	口腔ｹｱｽﾃｰｼｮﾝ	1	36	36		①各病棟からｱｸｾｽしやすい位置に配置する				自動・混	○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○					○							自動・単								歯科ﾕﾆｯﾄ用配管	歯科ﾕﾆｯﾄ
	応接室	2	20	40						自動・混	○	○							○	○	○			○	○			定時	○	○	○																				
	湯沸室	2	5	10					レバー・混											○	○			○	○			24時間	○	○	○																				
	○医事・医療連携																																																	
厚生部門	売店スペース	1	80	80					レバー・混		○								○	○	○			○	○			24時間	○	○	○											レバー・混								三相200V	冷蔵庫、冷凍庫
	ﾗｳﾝｼﾞｽﾍﾟｰｽ	1	80	80		①患者の休憩ゾーンとして整備する ②売店のイートインコーナーとすること					○	○							○	○				○	○			24時間	○	○	○																			三相200V	
	ｺｲﾝﾗﾝﾄﾞﾘｰ	1	15	15		①洗濯機・乾燥機：各１台を設置できるスペースを確保すること ②車椅子でも使用できるスペースを確保すること														○					○	○			24時間	○		○	○										自動・混								三相200V	洗濯乾燥機
	職員図書室	1	100	100		①職員のための所蔵、検索、閲覧、貸出用として設置すること					○							○	○	○				○	○			24時間	○	○	○											自動・混								移動収納棚用レール埋め込み	移動収納棚
	組合室兼倉庫	1	30	30							○	○							○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																				
	○厚生部門																																																	
共用	WC	4	48	192	8m×6m程度	①車いす用WCを各ヶ所2ヶ所程度設置すること ②オストメイト対応のWCを各フロア1ヶ所以上設置すること				自動・混				○						○	○			○	○			定時	○	○	○																○		○		
	車椅子収納ｴﾘｱ 正面玄関	1	10	10	20台分　正面玄関付近	①諸元はｴﾘｱ設置個所に従属する																																											車椅子止め	車椅子止め
	車椅子収納ｴﾘｱ 寝台EV付近	1	5	5	5台分　寝台EV付近	①諸元はｴﾘｱ設置個所に従属する																																											車椅子止め	車椅子止め
	○共用																																																	
■管理部門						**①職員の管理・セキュリティはICカード型にて行う ②敷地内にシャトルバス用のバス停を設置する ③敷地内にタクシー乗り場を設置する ④駐車場は敷地内に身体障がい者用3台、サービス事業者用10台、救急車用3台、患者搬送用車両車庫1台を設ける ⑤駐輪スペースは患者100台、職員200台を設ける**																																														

必要諸室		全般					建築等				電気設備																	機械設備																								
		面積																LAN		コンセント				照明器具										医療ガス							衛生器具											
部門名	諸室名	室数	想定面積	規模㎡	備考	施設要求水準	吊戸棚	カウンター	流し台	洗面化粧台・洗面化粧カウンター	電話	TV	患者呼出	ナースコール	インターホン	医療機器用配管	その他	電子カルテ用：無線対応含	一般インターネット用	一般用	発電機電源	無停電電源	特殊電源	一般	発電機回路	調光設備	その他	空調運転時間	給水	給湯	排水	ガス	蒸気	特殊排水	酸素	吸引	空気	笑気	窒素	二酸化炭素	余剰ガス排出	手洗器／洗面器	スタッフ用手洗器（グースネック水栓）	手術用手洗器	掃除流し	汚物流し	乳児バス	オストメイト	シャワー水栓	手指乾燥機	備考（本工事）	配置予定の主要な医療機器等（別途工事）
17物品管理部門																																																					
供給関係	SPD倉庫	1	120	120		①中央材料部門との近接性に配慮すること ②カート台数：最大５台を配置できるスペースを確保すること ③検収スペースを含むこと ④物品の保管スペースを含むこと ⑤工作スペースを設けること ⑥院外SPDを前提とする					○							○	○	○	○			○	○			24時間																										
	事務倉庫	1	100	100		①休憩室としても利用する					○									○	○			○	○			24時間																							
	マットレス倉庫		適宜			①ベッドのマットレスの中央保管スペースとする ②ベッドメンテナンスは病棟内で行う														○	○			○	○																												
	清潔リネン倉庫	1	30	30																○	○			○	○			24時間																							
	物品管理事務室	1	15	15		①休憩室としても使用する				自動･混	○							○	○	○	○			○	○			24時間	○	○	○																					
	備蓄倉庫	1	50	50		①３日分の非常食の保管を想定する													○	○	○	○			○	○			24時間																							
	検収ホール	1	適宜								○									○	○			○	○			24時間	○	○	○											自動･混										
	○供給関係																																																				
廃棄物関係	ごみ置場	1	20	20		①屋外からアクセスする														○				○	○				○		○											自動･単			○					洗浄スペースを設ける	
	感染性廃棄物置場	1	10	10		①陰圧対応とすること ②屋外からアクセスする ③廃棄物搬送を想定するEVからの動線に配慮する														○				○					○		○											自動･単			○						
	粗大ゴミ置き場	1	10	10		①屋外からアクセスする ②入口に屋根を設ける														○				○																											
	不潔リネン庫	1	30	30						自動･混	○									○				○				24時間	○	○	○												自動･単		○	○						
	○廃棄物関係																																																				
■物品管理部門																																																					
18.医療情報部門																																																					
医療情報	サーバー室	1	30	30		①院内全てのサーバーを集約配置できるスペースに加え、システム更新時の予備スペースを確保すること ②サーバーラック15本　床置き型送風機を設置 ③発熱量に対し十分な空調･換気設備、サーバーに配慮した消火設備仕様とする ④出入口扉はサーバーラックの出入りを想定する					○							○	○	○	○	○		○	○			24時間																								電源盤、UPS、OAフロア	サーバーラック、床置き型送風機
	情報管理室	1	15	15		①3人程度のSE執務スペースと作業できるスペースを確保すること					○							○	○	○	○	○		○	○			24時間	○		○											自動･混										
	予備機保管室	1	10	10							○							○	○	○	○			○	○			24時間																							
■医療情報部門						**①スタッフの携帯電話はスマートフォンを想定し、電子カルテ･ナースコールと連動させることを想定する ②固定電話はアナログ回線とする**																																															
19.設備部門																																																					
設備部門	中央監視室	1	90	90		①図面や施設管理に必要な資料等の収納スペースを確保すること ②2人程度の執務スペース（用度課）を設ける			レバー･混		○	○						○	○	○	○	○		○	○			24時間	○	○	○												自動･混										
	機械室	適宜	適宜			①諸元は右表によらず、設置する機械に必要な備えを設けること					○									○				○	○				○		○													○								
■設備部門																																																					